

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2002-521400(P2002-521400A)

【公表日】平成14年7月16日(2002.7.16)

【出願番号】特願2000-561822(P2000-561822)

【国際特許分類】

A 01 N	47/18	(2006.01)
A 01 N	25/04	(2006.01)
A 01 N	43/84	(2006.01)
B 27 K	3/38	(2006.01)

【F I】

A 01 N	47/18	1 0 1 C
A 01 N	25/04	1 0 2
A 01 N	43/84	1 0 1
B 27 K	3/38	B B A

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月11日(2006.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

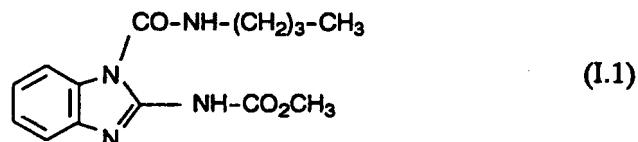
【特許請求の範囲】

【請求項1】 必須成分として下記のa)とb)を含む、多相水性サスペンション

a) ベンゾイミダゾールのクラス、または式I.1~I.4で表されるベンゾイミダゾールを遊離させる前駆体由来である、1~50重量%のミクロ懸濁化固体粒子としての殺真菌性活性成分；

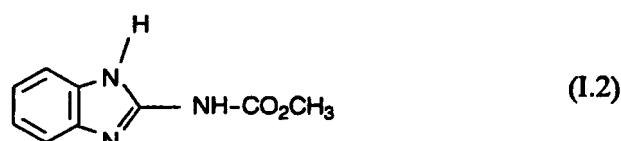
メチル1-(ブチルカルバモイル)ベンゾイミダゾール-2-イルカルバメート(I.1)

【化1】



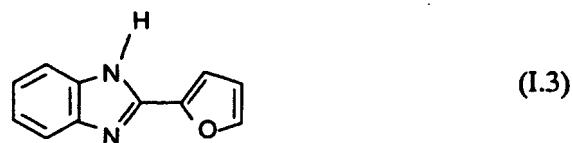
メチルベンゾイミダゾール-2-イルカルバメート(I.2)

【化2】



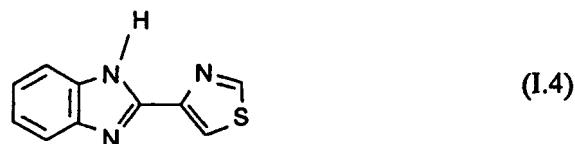
2-(2'-フリル)ベンゾイミダゾール(I.3)

【化3】



2-(1,3-チアゾール-4-イル)ベンゾイミダゾール (I.4)

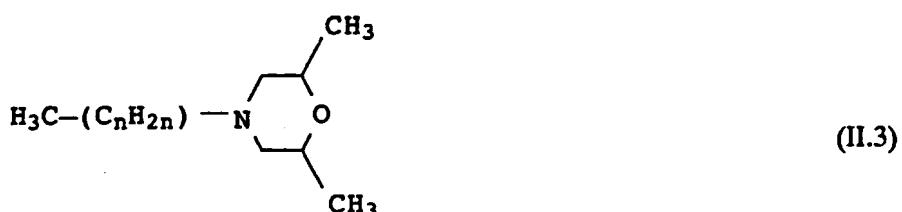
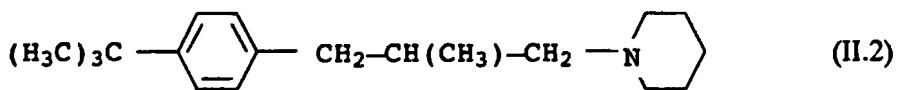
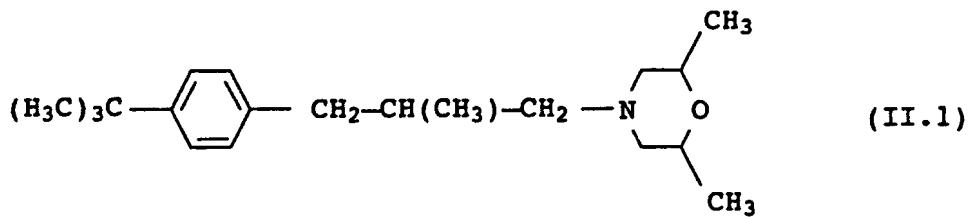
【化4】



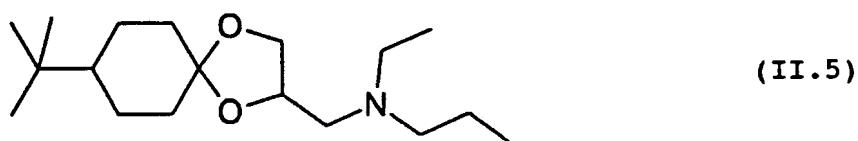
b) 下記b₁)、ならびにb₁)と組み合わせて少なくとも1つの成分b₂)もしくはb₃)を含むエマルジョン;

b₁) 式II.1~II.5で表される化合物の中から選択される殺真菌性活性成分;

【化5】



[n= 10, 11, 12 (60 - 70%)または 13]



b₂) アゾールIII.1~III.18の中から選択される殺真菌性活性成分；

- 1-[(2RS,4RS;2RS,4SR)-4-ブロモ-2-(2,4-ジクロロフェニル)-テトラヒドロフリル]-1H-1,2,4-トリアゾール (III.1)
- 2-(4-クロロフェニル)-3-シクロプロピル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)ブタン-2-オール (III.2)
- (±)-4-クロロ-4-[4-メチル-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル-メチル)-1,3-ジオキソラン-2-イル]フェニル 4-クロロフェニルエーテル (III.3)
- (E)-(R,S)-1-(2,4-ジクロロフェニル)-4,4-ジメチル-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)ペント-1-エン-3-オール (III.4)

- (Z)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)-2-(4-フルオロフェニル)-3-(2-クロロフェニル)オキシラン (III.5)
 - 4-(4-クロロフェニル)-2-フェニル-2-(1H-1,2,4-トリアゾリル-メチル)ブチロニトリル (III.6)
 - 3-(2,4-ジクロロフェニル)-6-フルオロ-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)キナゾリン-4(3H)-オン (III.7)
 - ビス(4-フルオロフェニル)(メチル)(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル-メチル)シラン (III.8)
 - (R,S)-2-(2,4-ジクロロフェニル)-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)ヘキサン-2-オール (III.9)
 - (1_{RS},5_{RS};1_{RS},5_{SR})-5-(4-クロロベンジル)-2,2-ジメンチル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)シクロペンタノール (III.10)
 - N-プロピル-N-[2-(2,4,6-トリクロロフェノキシ)エチル]-イミダゾール-1-カルボキサミド (III.11)
 - (±)-1-[2-(2,4-ジクロロフェニル)-4-プロピル-1,3-ジオキソラン-2-イルメチル]-1H-1,2,4-トリアゾール (III.12)
 - (R,S)-1-(4-クロロフェニル)-4,4-ジメチル-3-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ペンタン-3-オール (III.13)
 - (±)-2-(2,4-ジクロロフェニル)-3-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-プロピル1,1,2,2-テトラフルオロエチルエーテル (III.14)
 - (E)-1-[1-[[4-クロロ-2-(トリフルオロメチル)フェニル]-イミノ]-2-プロポキシエチル]-1H-イミダゾール (III.15)
 - (RS)-2,4'-ジフルオロ- - (1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)-ベンズヒドリルアルコール (III.16)
 - 2-p-クロロフェニル-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)-ヘキサンニトリル (III.17)
 - 1-(2,4-ジクロロ- - プロピルフェネチル)-1H-1,2,4トリアゾール (III.18)
- および / または

b₃) 式IVで表される安息香酸エステル ;

【化6】



〔式中、置換基は以下の意味する :

nは0~3の値、

RはC₁~C₈-アルキル、C₆~C₁₄-アリール、C₆~C₁₄-アリール-C₁~C₈-アルキル-、

R¹は水素、C₁~C₈-アルキル、C₆~C₁₄-アリール、C₆~C₁₄-アリール-C₁~C₈-アルキル-、ハロゲン、C₁~C₆-アルコキシ]。

【請求項2】 5~15重量%の式III.9、III.12および / またはIII.18で表される活性成分を含む、請求項1記載の多相水性サスペンション。

【請求項3】 エマルジョンb)中の成分の油相密度が0.95~1.05g/cm³の範囲である、請求項1または2記載の多相水性サスペンション。

【請求項4】 成分b中に重量比1.5:1~5:1で、式IIの活性成分と、III.9、III.12およびIII.18の中から選択されるアゾール活性成分との混合物を含む、請求項1~3のいずれか1項記載の多相水性サスペンション。

【請求項5】 噴射、充水、液浸、または自体公知の他の方法によって真菌性木材ペストに対して木材を処置するための、水で希釈した請求項1~4のいずれか1項記載の多相水性サスペンションの使用。

【請求項 6】 植物保護の殺真菌剤としての、水で希釈した請求項 1～4 のいずれか 1 項記載の多相水性サスペンションの使用。